



之あけ字はさしあはせ
 こせんひさし二十と新
 号くわん百一の和字

望
 考
 考
 考



きおつ四十八そらうこわをせ
こせんしせらの中ニそわを
くわん百そのわを





事のひのひに暮歎ふとて
 海よりさうの程方りして
 こと業の因縁とてまゝな
 けは因縁の取減れとて
 ありしころの年より十
 ねたいてくまのうた
 てたよとてのほと
 いららるゝ方の教と
 は流の半部とて行な



Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the right page of the manuscript.

田舎のうり合

Handwritten text below the title on the right page.

一巻 たのき梅

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located on the left page of the manuscript.

右海老(巻)

海人のうり合 紅梅(巻)

二巻 たのき梅

あひのうり合 紅梅(巻)

右海老(巻)

あひのうり合 紅梅(巻)

小島 大古寺跡

りしむるをいふは御堂のいふに似たりしむるをいふは御堂のいふに似たり

古くは

たかひにひらきわたるるをいふは御堂のいふに似たり

小島 大古寺跡

りしむるをいふは御堂のいふに似たりしむるをいふは御堂のいふに似たり

古くは

たかひにひらきわたるるをいふは御堂のいふに似たり

小島 大古寺跡

りしむるをいふは御堂のいふに似たりしむるをいふは御堂のいふに似たり

古くは

たかひにひらきわたるるをいふは御堂のいふに似たり

小島 大古寺跡

りしむるをいふは御堂のいふに似たりしむるをいふは御堂のいふに似たり

古くは

たかひにひらきわたるるをいふは御堂のいふに似たり

小島 大古寺跡

りしむるをいふは御堂のいふに似たりしむるをいふは御堂のいふに似たり

古杜部

たのりあのみちのすあひのなをいふ

八重 たあつな

なまつらうみそゆかしのしつらうのし

ちあま

なまつらうのしつらうのしつらうのし

九重 たつな

たあつな

古杜部

たあつな

十重 た初秋

初秋

ちあま

たあつな

十一重 た嵐

あつな

古杜部

あつな

十二番 丸山後月

丸山後月の夜は静かき月影の如く
古の歌に
丸山後月

十三番 丸海色月

丸海色の月影は静かき月影の如く
古の歌に
丸海色月

十四番 丸山前月

丸山前月の夜は静かき月影の如く
古の歌に
丸山前月

十五番 丸山前月

丸山前月の夜は静かき月影の如く
古の歌に
丸山前月

十六番 丸山前月

丸山前月の夜は静かき月影の如く
古の歌に
丸山前月

十七番 丸山前月

丸山前月の夜は静かき月影の如く
古の歌に
丸山前月

たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

十七番 たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

十八番 たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

十九番 たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

たつた

たつたのうらたつたのうらたつたのうらたつたのうら

女一書 九月結意

あはれいしむこと事とらふこといふこといふこといふこといふこと

右様

あはれいしむこと事とらふこといふこといふこといふこといふこと

女二書 九月結意

あはれいしむこと事とらふこといふこといふこといふこといふこと

右様

あはれいしむこと事とらふこといふこといふこといふこといふこと

女三書 九月結意

あはれいしむこと事とらふこといふこといふこといふこといふこと

右様

あはれいしむこと事とらふこといふこといふこといふこといふこと

女四書 九月結意

あはれいしむこと事とらふこといふこといふこといふこといふこと

右様

あはれいしむこと事とらふこといふこといふこといふこといふこと

文電え菊月上旬之天於徳也

右様玉用不右之書写あり

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style. It appears to be a personal communication, possibly a letter or a note. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear, including some staining and discoloration. The text is arranged in several lines, filling most of the page.

書名 澄鏡 ほか

Handwritten text in cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style. It appears to be a personal communication, possibly a letter or a note. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear, including some staining and discoloration. The text is arranged in several lines, filling most of the page.

Handwritten text in cursive script, likely a signature or a specific name.

Handwritten text in cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or a specific name.

Handwritten text in cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or a list of names. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text, some of which appear to be names or titles.

從二位友系列

應安子^五年大呂女^五日

翫花 花は一日に散るものなり

世の如く日々に散るものなり

惜花 花は一日に散るものなり

惜花 花は一日に散るものなり

惜花 花は一日に散るものなり

惜花 花は一日に散るものなり

歎か

花は一日に散るものなり

系考

花は一日に散るものなり

暮のまゝ 遺物変化之現面白く

花は一日に散るものなり

友十の首

首 友十の首

花は一日に散るものなり

文 友十の首

花は一日に散るものなり

和 友十の首

花は一日に散るものなり

邦 友十の首

老来の身はなほ元氣にありておもしろき事あり

庭橋

老を思ふに昔の昔を思ふにけり神ありたの橋

早苗 梅葉の風いさなぬらぬらと吹く

こころはなほ元氣にありておもしろき事あり

高橋

こころはなほ元氣にありておもしろき事あり

水月

こころはなほ元氣にありておもしろき事あり

夕立

庭橋
こころはなほ元氣にありておもしろき事あり

友年

こころはなほ元氣にありておもしろき事あり

友月

友の情乃の影ありておもしろき事あり

聖堂 心懸ておもしろき事あり

こころはなほ元氣にありておもしろき事あり

沙窓 吟湯報

こころはなほ元氣にありておもしろき事あり

納涼 他融ん辞昂る涼
未天りに懸る涼

くさくさの海を渡るよりのうらみかきしむるはるのさき

文後

けりるうらみのうらみは後とけりるうらみのさきしむるはるのさき

廿二角

秋 秋名秋後とて大刻金し刻しむる大のさきと

酒・増南小角秋のさきしむるはるのさきしむるはるのさき

七夕 牛女年へ後とけりるうらみ

あはれさきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

梅 梅さきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

風 風さきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

新萩 あさかきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

桂 桂さきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

萩萩

さきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

萩 萩さきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

たけの村 たけの村さきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

萩 萩さきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

かきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

萩 萩さきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

かきしむるはるのさきしむるはるのさきしむるはるのさき

言風 風のらうらうとよよとぬしを

吹風のかかりのちと月影とをててとらうきなりけ

夕麻 鐘多の流備馬音宮内未定通福の事
吟笑麻の別く一は福年膝の四文

晴いさすぬきとけいさいふと麻のさうらうと

和

とらふ海らうと月影とをててとらうきなりけ

義虫

美しき花の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

造る花の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

けそらうらうと月影とをててとらうきなりけ

花月

月影の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

花月影の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

花月影の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

花月影の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

花月影の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

信菊

花月影の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

持衣園中情を流す情も信菊也

花月影の流れくはとけいさいふと麻のさうらうと

黄葉

あきばやしき 黄葉のころは 秋の深きなりけり 黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉

あきばやしき 黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉

黄葉

あきばやしき 黄葉のころは 秋の深きなりけり

あきばやしき 黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉

黄葉のころは 秋の深きなりけり

黄葉

黄葉のころは 秋の深きなりけり

後序 此の粘りやうがなれおくるにうし

ちりしき田代南と一合はまき粘りのしるし

細代 忘おもむく勝也お一目こめ細代

少負しきる細代の舞歌しりて夜の言はしあはし

寒月 粘熱し初めしりまきとあはし

竹の葉のまきしりてしりてあはし

庭書

新あけて初らりまきあはし

岩の葉 一葉可風

あはしりてあはしりてあはし

地火 置しりてあはし

あはしりてあはしりてあはし

傳名

あはしりてあはしりてあはし

あはしりてあはしりてあはし

あはしりてあはしりてあはし

あはし

あはしりてあはしりてあはし

あはしりてあはしりてあはし

あはしりてあはしりてあはし

仲はぬいひのむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

好む者 下句 夷舞の

或は野のむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

故郷 和東元月多滞りての凡牝増録

心ゆくめでしうしむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

本懐

一むらさきの花乃とあつたむらさきの歌

懐旧

心ゆくめでしうしむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

長傷 小形之俗有餘男の村之風影録 安唐

心ゆくめでしうしむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

神機 上句 好む者 下句 詠之 合神

心ゆくめでしうしむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

釋者 中句 好む者 下句 詠之 合神

心ゆくめでしうしむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

元和六年冬 日於和泉山 申詠之 十行 安唐

心ゆくめでしうしむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

片雲 八十一卷 之 長 點 了 云

心ゆくめでしうしむらさきの花乃とあつたむらさきの歌

枯あはれ風は松葉の枯枯とあはれ

一松後意なき松の枯葉の枯枯とあはれ

言海月

こゝろの秋の風は松の枯葉の枯枯とあはれ

言海月

つれづれと松の枯葉の枯枯とあはれ

言海月

なまぬき松の枯葉の枯枯とあはれ

言海月

なまぬき松の枯葉の枯枯とあはれ

名所松

なまぬき松の枯葉の枯枯とあはれ

なまぬき松の枯葉の枯枯とあはれ

なまぬき松の枯葉の枯枯とあはれ

なまぬき松の枯葉の枯枯とあはれ

松尾清子里守同風因賢作易色

一松後意なき松の枯葉の枯枯とあはれ

松尾清子里守同風因賢作易色

十あはれ松の枯葉の枯枯とあはれ

言海月

信文

見らるるいふにむかしに物さへしむる事

あふのねをきれん

ねをきれん

ゆゑにねをきれんは事し陸奥城の信文をきれん
は信文也

元禄十一年八月十二日写之 上村正敬



